

大阪府立千里高等学校
平成 30 年度 第 1 回学校協議会 会議記録

○ 日時 平成 30 年 7 月 6 日 (木) 15 : 30 ~ 16 : 30

○ 会場 校長室

○ 出席者

(学校協議会委員)

和田 良彦 大阪教育大学 教授

高木 学 江坂・起業家センター代表取締役

大森 万峰子 千里高校 学校薬剤師

橋本 和正 千里高校 P T A 会長

(学校側)

校長 天野 誠 事務長 青枝 久仁子 首席 大西 千尋

総合科学科長 牛久保 徹 S S H 主担当 岩井 清

(事務局)

教頭 山下 尚紀 教育情報部長 松井 活夫

○ 議事概要

1 平成 30 年度学校経営計画 (校長より)

- 1 学びの切磋琢磨 課題研究の学びを全体の科目に応用し、深い学びを実現
- 2 高い志 部活動でも鍛えられている
- 3 進路実現 今年度は現浪併せて国公立 109 名合格 土曜講習をより有機的に実施する
- 4 指導力向上 プロジェクトチームを立ち上げ、研修会・研究授業を実施していく

2 SGH 報告

- 指定 4 年目にあたる今年度は卒業生に対してアンケートを実施 (SGH の取り組みが進路選択に関与したか等)。また海外協力校を作る。課題を解決する学習を通して創造的提案力を高めたい。

3 SSH 報告

- 2 年目。核になる生徒 (SFG) を募集したところ 200 名の希望があった (昨年は 60 名)。意欲を持続できる取り組みを展開したい。

協議

教員の指導力向上のために必要な取り組みは

- 新学習指導要領を踏まえた、具体的な指標作りが必要である

生徒のセルフマネジメント力を高めるためには

- 卒業から逆算し勉強と部活を調整しながら、いつ、何を、どのように行えば希望が叶うのかを計画・実行できる指標が必要。外務省の出前講座など外部講師も利用し、生徒の将来像確立を促進すべき。

不登校生徒について

- 学生ボランティアなど、生徒にとって年齢の近い存在を活用し、相談に応じる方法もある。